

松山チャレンジランキング大会 2022 夏

5月8日（日）、松山小学校グラウンド及び体育館にて松山子ども夢事業主催による松山チャレンジランキング大会（以下チャレラン）が開催されました。

当日は新型コロナウイルスの感染防止対策が徹底されていたので、安心してイベントに臨むことができました。晴天に恵まれ心地よい風が吹く中、子供たちは終始元気いっぱいやる気に満ちていました。

チャレランの競技は12種類あり、ステキな景品をかけて熱戦が繰り広げられました。

新型コロナウイルスに対する配慮が欠かせない日々が続いている中、予定通り開催できたことは子供たちにとって良い思い出となったことでしょう。

① 連続ジャンケンチャレンジ【全学年】

スタッフとジャンケンして、どれだけ連続で勝てるかを競いました。

4回くらいまでは勝てても、そこからが負けたりあいこになったり、勝ち進むのが難しかったようです。

② 射的【全学年】

コルク球の銃で点数のついた的を撃ち落とし、合計点数を競いました。

大きい的は比較的倒せていても、細長い的や小さい的に当てるのは難しいようで、子供たちは難しいと言っていました。

③ 水中コイン落とし【全学年】

水槽の中にあるターゲットを指してコインを入れて高得点を目指しました。

1円玉を落とすので水中でヒラヒラと動き、狙った所に落ちてくれないのでどの学年の子でも上位を目指せると思いました。

得点が高いターゲットはコインの入り口が狭く、難しそうでした。

④ カウンター回数チャレンジ【全学年】

制限時間内にカウンター（数取器）をどれだけ多く押せるかを競いました。

「すぐに記録を抜かれる気がする」「結構無理」「むっず」など、思ったより記録が伸びないようでした。

早かった子にコツを聞くと、「残り時間が半分くらいになり、指が疲れてきたら反対の指で押すと言い記録が出た」と教えてくれました。

⑤ ダイナミックカーリング【全学年】

3人1組でのチーム戦。大玉、サッカーボール、バスケットボール、ラグビーボールの4つをチームの持ち玉とし、的をねらって得点を競いました。大玉は止まってくれずコロコロ転がり続けるチームが多かったですが、チームで「このくらいの力加減かな」と相談しながら一丸となって転がっていて楽しそうでした。

⑥ 靴飛ばしチャレンジ【全学年】

どれだけ自分の靴を遠くまで飛ばせるかを競いました。助走をつけながら飛ばす子、助走をつけずスタートラインから飛ばす子、上に高く飛ばして記録が伸びず残念がる子がいました。

⑦ 輪なげBINGO【1、2年生のみ】

輪なげとBINGOを合わせた競技。入った的の合計点を競いました。1つでも入ると「やったー」と喜んでいる子が多くて可愛かったです。同じ場所に入れ続けて記録を伸ばそうと作戦を練っている子もいました。

⑧ ほうき de バランスゲーム【1～4年生のみ】

手のひらにほうきを乗せ、どれくらいの時間バランスを保てるかを競いました。風が吹いて不利な状況の中、2秒でも精一杯という感じでした。そんな中でも8秒を叩き出した子がいて驚きました。

⑨ 豆つまみ皿移動チャレンジ【全学年】

1分間でどれだけ多く的大豆を箸でとなりの皿に移せるかを競いました。長い箸か短い箸、好きな方を選んで挑戦していました。慣れている箸ではないからか、意外と掴むのが難しそうでした。

⑩ ピンポン玉チャレンジ【全学年】

ピンポン玉を的に入れ、合計点を競いました。的は、トイレットペーパーの芯が立ててあるものでした。その高さにより獲得点数が違います。1回以上ピンポン玉をバウンドさせて入れなければ点数にならないルールでした。高い得点目指していろいろな角度から頑張っていました。

⑪ 紙飛行機チャレンジ【全学年】

決められた紙を使って自分で紙飛行機をつくり、どれだけ遠くまで飛ばせるかを競いました。

飛行機の先を曲げてよく飛ぶようにしたり、細長くなるようにしたり、いろいろな工夫をして楽しそうに作っていました。練習場所で飛ばしてから本番に臨んでいました。19m飛ばせた子がいて驚きました。

⑫ スタンプ早押しチャレンジ【1年生のみ】

マスの中に30秒でどれだけ多くスタンプを押せるかを競いました。

1つ1つ確実に丁寧に押す子、数多く押そうと頑張る子、縦方向に押していく子、横方向に押していく子、それぞれのやり方で真剣に頑張っていました。39個押した子が1位でした。

競技終了後、各競技の表彰が行われました。上位5名にステキな景品と賞状が授与されました。景品は、1位タブレットPC、2位バナナクッション、3位花火セット、4位文具セット、5位タンブラー2本セットでした。

思うような記録にならず悔しがる子もいましたが、最後には楽しかったと笑顔で話してくれる子ばかりでした。どの子供の表情からも、全力で楽しんだことが伝わりました。

競い合うことが少なくなってきた昨今、勝てば嬉しく負ければ悔しいという感情が生まれることで、豊かな感受性を育むことができると思いました。

閉会式では、秋にも開催を予定しているとのことでしたので、予定通り開催され、再び子供たちの笑顔が見られるといいと思いました。